

群馬工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	科学英語B	
科目基礎情報							
科目番号		20		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		学修単位: 1	
開設学科		生産システム工学専攻		対象学年		専2	
開設期		後期		週時間数		1	
教科書/教材		英語モードが身につくライティング					
担当教員		伊藤 文彦					
到達目標							
英文法を理解できる。(grammar) 科学に関する英文を読み、内容を理解することができる。(reading) 英文を執筆することができる。(writing) 英語を話すことができる。(speaking)							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
grammar		英文法をよく理解している		英文法をある程度理解している		英文法を理解することができない	
reading		科学に関する英文を十分に理解することができる		科学に関する英文をある程度理解することができる		科学に関する英文を理解することができない	
writing		自己の考えをよく表現できる		自己の考えをある程度表現できる		自己の考えを表現できない	
speaking		英語を十分に話すことができる		英語をある程度話すことができる		英語を話すことができない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		grammar---英文法の重要事項を確認する。 reading---単語・熟語・英文法の知識を有機的に結び付けて英文を読む訓練を行う。 writing---表現力を培う。(この一環でspeakingの練習も行う)					
授業の進め方・方法		授業では教科書およびプリント教材を使用する。主に、科学的内容を扱った英文を読む。英文と日本語表現との違いなどを講義して英語力を育成する。					
注意点		英語力が伸びるか否かは、学生の主体性・教員の情熱・テキストの良さで決まる。まず学生は主体性を持って学習してほしい。英和・和英辞典を持参すること。授業進度によっては他の英語トレーニングも行う。授業時間30時間に加えて、自学自習時間15時間が授業の前後に必要なとなる。具体的な学習内容は毎回の授業における予習と復習である。High English proficiency will be yours by virtue of daily continious practice.					
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	introduction, fast writing practice, speaking practice		icebreak, improve writing skills; speaking---want to do-pattern		
		2週	science English		imporve writing skills---研究内容を英語で表現する		
		3週	science English, speaking practice		研究内容を英語で表現する; speaking---want 人 to do-pattern		
		4週	science English		comprehend reading material		
		5週	science English, speaking practice		comprehend reading material, speaking---think that-pattern		
		6週	grammar/writing exercises		learn grammatical knowledge and writing skills		
		7週	grammar/writing exercises		learn grammatical knowledge and writing skills		
		8週	review. speaking practice		review/ speaking---past participle modifying noun clause-pattern		
	4thQ	9週	2 paragraph essay		improve writing skills---topic/supporting/concluding sentences		
		10週	2 paragraph essay		improve writing skills		
		11週	vaccination, speaking practice		comprehend reading material, speaking---relative pronoun (who)		
		12週	vaccination		comprehend reading material		
		13週	earth, speaking practice		comprehend reading material, speaking---relative pronoun (which)		
		14週	earth; English for fun		comprehend reading material		
		15週	final exam		review		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。		3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。		3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。		3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。		3	

				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0